

技術経営会議 本会議 (夏:軽井沢)

『 未来を担う日本へ ～経営の新しいステージ～ 』

IMD[※]「世界競争力年鑑」によると、我が国の世界競争力ランキングは1989年から4年連続で1位だったものが、2023年は64か国中35位である。特に「経営プラクティス」は62位と評価されており、企業経営の影響は無視できない。日本が価値を提供し、世界の国々から評価され信頼され続ける国となるために、我々は何を考え、何に取り掛かれば良いのか。この世界の未来を担う日本に向けて、さまざまな分野の有識者を交えて議論していく。

※ International Institute for Management Development

技術経営会議の9月の本会議は、初秋の軽井沢で1泊2日にわたり会員と有識者が一堂に会し、統一テーマにまつわる議論を繰り広げる。産・官・学の幅広い参加者との貴重な交流の機会である。



特別講演

【開催時期】 2023年9月8日(金)～9日(土) [10日 交流ゴルフ]

【開催場所】 軽井沢プリンスホテルウエスト+Webリモート

【参加人数】 250名程度 (2022年度は241名)

【プログラム】

- ・特別講演 高津 尚志 氏 (IMD 北東アジア代表)
奥田 浩美 氏 (株式会社ウィズグループ 代表取締役)
先崎 彰容 氏 (日本大学 危機管理学部 教授)
- ・ラウンドテーブル講演(2件)、専門委員会報告(1件)
- ・ラウンドテーブル討論 1テーブル30名程度・5テーブル
- ・交流パーティー / ナイトセッション / コテージセッション
- ・プレ・ポストプログラム (テニス(8日)、ゴルフ(10日))

【お問合せ】 honkaigi@jates.or.jp



ラウンドテーブル



食事会(2022年は着席会食)



コテージ (宿泊)



コーヒーブレイク



オプションプログラム(テニス&ゴルフ)

●2023年参加費 (予定)	役員クラス	部課長クラス
技術経営会議 会員会社	80,000	40,000
JATES 会員 (法人・個人) (技術経営会議会員会社以外)	90,000 [※] (通常 120,000)	45,000 [※] (通常 60,000)
JATES 会員外	100,000 [※] (通常 150,000)	50,000 [※] (通常 100,000)

※2023年は特別キャンペーン価格

2023年 第99回本会議(軽井沢)プログラム

統一テーマ:『未来を担う日本へ ～経営の新しいステージ～』

9月8日(金)	時間	内 容
12:00～12:50	50分	■技術経営会議審議(昼食含む) ・本会議審議(会員代表者のみ参加) ・運営委員会審議(次期運営委員)
13:00～13:10	10分	■開会挨拶及び審議結果報告 技術経営会議 斎藤 保 議長(㈱IHI 相談役)
13:10～13:50	40分	■専門委員会報告 ラウンドテーブル①のテーマ 演題:「レジリエントな社会を考える」専門委員会報告 講師:長島一郎氏(委員長 / 大成建設㈱ 常務執行役員 技術センター長)
14:00～14:40	40分	■ラウンドテーブル講演① ラウンドテーブル②のテーマ 演題:「サステナビリティ経営の実現に向けて SX(サステナビリティトランスフォーメーション)の時代」 講師:磯貝友紀氏(PwC Japan グループ サステナビリティ・センター・オブ・エクセレンス リード・パートナー)
14:40～15:20	40分	■コーヒーブレイク(チェックイン)
15:20～16:30	70分	■特別講演1(基調講演) ラウンドテーブル③のテーマ 演題:「間に合ううちに、活かせ ～ IMD 世界競争力ランキングに見る、日本の経営課題」 講師:高津尚志氏(IMD 北東アジア代表)
16:40～17:30	50分	■特別講演2 ラウンドテーブル④のテーマ 演題:「変化と挑戦の時代におけるリーダーシップ : 予測困難な時代の生き方のヒント」 講師:奥田浩美氏(株式会社ウィズグループ 代表取締役)
17:30～18:30	60分	■荷物移動(コテージ)・休憩
18:30～20:00	90分	■交流パーティー(来賓挨拶、表彰式、利き酒など)
20:00～21:00	60分	○ナイトセッション(ブルースの夕べ: 菊田俊介(Vo, Gt) & 田中裕士(P))
21:30～		○コテージセッション(自由参加)
9月9日(土)	時間	内 容
7:00～ 8:20	適宜	■朝食
8:30～9:10	40分	■ラウンドテーブル講演② ラウンドテーブル⑤のテーマ 演題:「量子アニーリングの活用状況と量子ソフトウェア人材育成」(仮) 講師:大関真之氏(東北大学大学院 情報科学研究科情報基礎科学専攻 教授)
9:10～9:30	20分	■移動・休憩
9:30～11:30	120分	■特別セッション ラウンドテーブル討論 テーブル① ～ テーブル⑤
11:30～12:50	80分	■昼食・コーヒーブレイク
12:50～14:00	70分	■特別講演3 演題:「令和日本のデザイン」 講師:先崎彰容氏(日本大学 危機管理学部 教授)
14:05～14:45	40分	■ラウンドテーブル内容紹介
14:45～15:00	15分	■総括 技術経営会議 斎藤 保 議長
15:00		■閉会(現地解散) ○コーヒーブレイク(自由参加)

プレ・ポストプログラム (ゴルフは別途参加費あり)

9月8日(金)	時間	内 容
10:00～12:00	120分	○交流テニス 於:軽井沢 PH テニスコート
9月9日(土)	時間	内 容
15:30～17:30	120分	○交流テニス 於:軽井沢 PH テニスコート
9月10日(日)	時間	内 容
8:00～14:00	360分	○交流ゴルフ 於:軽井沢72ゴルフ場北コース

■ラウンドテーブル詳細

	テーマ	レジリエントな社会の実現に向けて	
1		<p>自然災害や少子高齢化、パンデミック、経済停滞、SDGs への挑戦、CN への道筋、そして、生成 AI の出現。これら解決の鍵は、持続可能で強靱な「レジリエントな社会の実現」にある。複雑で大規模な社会環境の変化の中で、失われた 30 年から踏み出し、新たな価値を生み出す戦略とは何か。課題と対応について、深く幅広く議論する。</p>	
	モデレーター	長島一郎 氏	大成建設(株) 常務執行役員 技術センター長
	アドバイザー	野口和彦 氏	NPO法人リスク共生社会推進センター 理事長
	テーマ	サステナビリティ経営の課題と展望	
2		<p>自然環境や社会課題に対する意識の高まりを背景に、企業におけるサステナビリティ経営の在り方が模索されている。JATES 会員企業へのアンケートにより見えた課題を踏まえ、今後の企業経営や社会制度等の在り方を議論する。</p>	
	モデレーター	藤原遠 氏	(株)NTTデータグループ 顧問
	プレゼンター	磯貝友紀 氏	PwC Japan グループ サステナビリティ・センター・オブ・エクセレンス リードパートナー
	アドバイザー	西口尚宏 氏	一般社団法人 GEN Japan 代表理事
	テーマ	経営を進化させよう ～ IMD 世界競争力ランキングの日本の「弱み」を「強み」に転換するために ～	
3		<p>わが国の「科学・技術インフラ」の何が優れていて、何が危ういのか。「教育インフラ」は、どうか。「経営慣行／姿勢と価値観」において、強みを生かすために経営者がすべきこととは何か。初日の基調講演で浮き彫りとなった課題を受け、ソニーの先進事例も紐解きながら、参加者と共に議論する。</p>	
	モデレーター	北野宏明 氏	ソニーグループ(株) 執行役 専務 兼 CTO
	プレゼンター	高津尚志 氏	IMD 北東アジア代表
	テーマ	変化と挑戦の時代をリード：自分ならではのリーダーシップの在り方を探る	
4		<p>不確実な社会において時代をリードするためのリーダーシップの在り方をワークショップで探求する。予測困難な時代の変化に直面した際のグラグラした感覚に慣れる方法、自らの挑戦にワクワクを感じる方法など、カオスな時代に必要とされるスキルとマインドセットを探求し、独自のリーダーシップの発揮の仕方に確信を持つ。</p>	
	モデレーター	奥田有紀 氏	横河電機(株) マーケティング本部 イノベーションセンター オープンイノベーション Gr 長
	プレゼンター	奥田浩美 氏	(株)ウィズグループ 代表取締役
	テーマ	量子技術の産業化に向けた課題と戦略	
5		<p>昨年の量子未来社会ビジョンで掲げられた政府目標を実現するため、量子技術の実用化・産業化に向けて目指すべき方針や取組を示した量子未来産業創出戦略が策定された。ここでは、量子技術の産業化に向けて重点的あるいは優先的に取組むべき課題や人材育成も含めた産学官連携の在り方について議論する。</p>	
	モデレーター	寒川哲臣 氏	日本電信電話(株) 先端技術総合研究所 基礎・先端研究プリンシパル
	プレゼンター	大関真之 氏	東北大学大学院 情報科学研究科 情報基礎科学専攻 教授
	アドバイザー	荒川泰彦 氏	東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 特任教授
	アドバイザー	岡田俊輔 氏	(株)東芝 執行役上席常務 最高デジタル責任者 東芝デジタルソリューションズ(株) 取締役社長

第99回本会議(軽井沢) 特別講演 講師紹介

■ 特別講演1(基調講演)

「間に合ううちに、活かせ ～ IMD 世界競争力ランキングに見る、日本の経営課題」

講師：高津 尚志氏 (IMD 北東アジア代表)



経営幹部育成分野で世界的評価を得るスイスのビジネススクール、IMD の一員として、日本企業のグローバル経営幹部の育成施策の設計や提供に従事。韓国と台湾も担当。

共著書に『なぜ、日本企業はグローバル化でつまづくのか』など。また、2010年にIMD 参画以来、IMD の「世界競争力ランキング」などの分析を重ね、論稿や発言を重ねてきた。

■ 特別講演2

「変化と挑戦の時代におけるリーダーシップ：予測困難な時代の生き方のヒント」

講師：奥田 浩美氏 (株ウィズグループ 代表取締役)



ムンバイ大学(在学時:インド国立ボンベイ大学) 大学院社会福祉課程修了。1991年に IT 特化のカンファレンス事業を起業。2008 年よりスタートアップ育成支援に乗り出しスタートアップエコシステムビルダーとしての活動を開始。2001 年に株式会社ウィズグループを設立。2013 年には株式会社たからのやまを創業し、地域の社会課題に対し IT で何が出来るかを検証する事業を開始。株式会社 TWOSTONE&Sons (東証グロス)の社外取締役。委員:環境省「環境スタートアップ大賞」審査委員長、経済産業省「未踏 IT 人材発掘・育成事業」審査委員、厚生労働省「医療系ベンチャー振興推進会議」委員等 著書:ワクワクすることだけ、やれればいい!(PHP 出版)他。

■ 特別講演3

「令和日本のデザイン」

講師：先崎 彰容氏 (日本大学 危機管理学部 教授)



1975年東京都生まれ。思想史家。東京大学文学部倫理学科卒業。東北大学大学院日本思想史博士課程単位取得終了(文学博士)。この間、文部科学省政府給費留学生としてフランス国社会科学高等研究院に留学(2006-2007年、国際日本学専攻)。現在、日本大学危機管理学部教授。ジョージタウン大学東アジア言語文化学部顧問研究員。著書に、『未完の西郷隆盛』(新潮選書2017年12月)、全訳・解題『文明論之概略』(角川ソフィア文庫2017年9月)、『維新と敗戦』(晶文社2018年8月)、最近刊『国家の尊厳』(新潮新書)ほか多数。その他、BS日テレ「深層NEWS」、BSフジ「プライムニュース」、Eテレ「知恵泉」・「100分で名著」等メディアへ論客として登壇。現代日本の諸問題を、明治日本の近代化を論じた知識人の倫理・思想観を援用しながら鋭く抉り、その本質を明らかにしている。

お問合せ先 一般社団法人 科学技術と経済の会 技術経営会議(事務局) 鈴木、瀧、志田

住所：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-3-1 飯田橋三笠ビル 2F

TEL: 03-3263-5501 FAX: 03-3263-5504

E-mail: honkaigi@jates.or.jp URL: <https://www.jates.or.jp>